

事業番号	127
------	-----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	橋梁長寿命化修繕事業			担当課	道路河川課	
事業期間	開始年度	～	終了予定年度	担当係	維持係	
総合計画	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち				
	目標	④ 生活の要は道路（道路）				
	成果指標			中間目標 (H27)	最終目標 (H32)	
予算区分	一般会計	8 款 土木費	2 項 道路橋梁費	2 目 道路維持費		
	細事業	道路維持補修事業				
位置づけ	関連計画					
	根拠法令					
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他					
実施方法	<input type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（					
対象(誰のため)	<input checked="" type="checkbox"/> 全市民 <input type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他					
事業の目的 (何のため)	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため、橋梁の長寿命化計画を策定し、修繕及び架け替えに係る費用の縮減を図る。					
内容(概要)	<p>①道路網の安全性・信頼性を確保するため、災害等の緊急時に移動可能な道路ネットワークを作成する。</p> <p>②湖西市が管理する橋梁の内、橋長15m以上の橋梁、合計45橋の調査及び点検をする</p> <p>③道路ネットワーク上に位置する橋梁を優先に修繕計画を策定する。</p> <p>④橋梁の修繕工事を実施する。</p> <p>※湖西市が管理する橋梁は全部で346橋存在するが、その内、橋長15m未満の橋梁については、1径間であり橋梁の規模が小さく補修や補強にかかる費用も比較的安価であること、橋梁が鉄筋コンクリート床板形式であるため、壊滅的な破壊が生じにくく突然の落橋がないと想定されるため、橋長15m以上の橋梁を対象とした。</p>					
これまでの改善・見直しの状況						

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費	
事業費	予算	0	5,730	8,550	(内訳)	
	決算	0	5,730	→	道路ネットワーク作成	1,300
財源内訳	国庫支出金		1,925	4,400	橋梁点検(23橋)	4,430
	県支出金		0	0		
	地方債		0	0		
	その他		0	0		
	一般財源		3,805	4,150		
職員人件費		0	6,390	6,932	人工	0.9 人

3. 事業の評価

事業の実施状況

活動指標	内容	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
	活動指標	橋梁長寿命化修繕計画策定に伴う橋梁点検の実施	橋	目標 0	23	22
実績 0			23			
橋梁長寿命化修繕計画の策定		目標			45	—
		実績				
		目標				
		実績				

実績・改善	平成23年度 活動内容	橋梁長寿命化修繕計画策定に伴う橋梁点検の実施 全45橋の内、予定していた約半数（23橋）の橋梁点検を終了した。				
	課題・問題点 となった事項	橋梁の耐震化との調整				
	どう対処したか	JRをまたぐ橋については、落橋防止対策は既に完了済みである。 今後は、長寿命化と耐震化との関連性について検討と対策を進める。				
	改善点					効果額 H24-H23 (千円)

自己評価	事業目的の 達成状況	平成23年度は、全45橋の内、予定していた約半数（23橋）の橋梁点検を終了できた。				
	※必要性 事業を廃止・休 止したときの影響	橋梁の老朽化により安全性が低下していくので、交通の危険性が高まる。 橋梁の安全性が確保されなければ、道路ネットワークが分断され交通機能の低下を招く。				
	判定	A 継続	② より一層の充実を図り実施	事業主体	市	
	判定理由	橋梁の老朽化対策は重要な課題であり、管理者として市が継続して事業を実施する必要がある。				
	今後の方向性	平成24年度に長寿命化修繕計画を策定し、その後は修繕計画に基づき、道路ネットワークとの関連により重要度や緊急度の高い箇所から修繕を実施していく。				